

神経難病先端医療センター

丁寧な問診、診察を基本に先端的な電気生理検査、画像検査、遺伝子診断などを用いて適切な治療プランを提案・実行します。



診療科
ホームページ
QRコード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○ (脳神経 内科)	○ (脳神経 内科)	○ (脳神経 内科)	○ (脳神経 内科)	○ (整形外科・ 脳神経内科)
午後					



得意とする疾患と担当医師

《担当診療科：脳神経内科》

●筋萎縮性側索硬化症などの運動ニューロン疾患の診断と治療

横田 隆徳医師、桑原 宏哉医師、叶内 匡医師

●脳梗塞の予防と治療

西田 陽一郎医師、鈴木 基弘医師、石黒 太郎医師

●重症筋無力症の診断と治療

横田 隆徳医師、西田 陽一郎医師

●脊髄小脳変性症・多系統萎縮症の診断と治療

横田 隆徳医師、石川 欽也医師、石黒 太郎医師

●認知症の診断と治療・プリオン病の診断とケア・進行性多巣性白質脳症の診断と治療・脳表ヘモジデリン沈着症の患者さんに対して、硬膜瘻孔閉塞術や鉄キレート剤デフェリプロン投与

横田 隆徳医師、三條 伸夫医師、西田 陽一郎医師

●多発性硬化症と視神経脊髄炎スペクトラム障害の診断と治療

横田 隆徳医師、三條 伸夫医師、西田 陽一郎医師、横手 裕明医師

●パーキンソン病 / 症候群・特発性正常圧水頭症の診断と治療・進行性核上性麻痺などの神経変性疾患の患者さんに対して、2次的な水頭症の合併を想定して、髄液除去試験を臨床研究として実施

服部 高明医師

●ギランバレー症候群・CIDPなどの末梢神経障害

横田 隆徳医師、叶内 匡医師、八木 洋輔医師、赤座 実穂医師

《担当診療科：整形外科》

●頸椎椎間板ヘルニアに対し最新の治療として頸椎人工椎間板置換術を実施

吉井 俊貴医師、平井 高志医師、小沼 博明医師

●重度の脊髄症や筋萎縮症を呈する頸椎後縦靱帯骨化症や頸椎症性脊髄症に対し高い診断精度とあらゆる病態に対応できる手術療法を提供 / 脊柱変形に対する矯正術

吉井 俊貴医師、平井 高志医師、松倉 遊医師

●術中脊髄モニタリングを使用し脊髄腫瘍に対する高難度手術の安全な手技を実践

吉井 俊貴医師、江川 聡医師、平井 高志医師

●比較的若年に発症する腰椎椎間板ヘルニアに対して内視鏡的摘出術だけではなく、軟骨特異的に作用する椎間板内酵素（コンドリナーゼ）注入療法を実施

平井 高志医師、松倉 遊医師

●脳表ヘモジデリン沈着症に対する外科的治療、日本で最も多くの手術を施行

吉井 俊貴医師、江川 聡医師



特色・診療内容

丁寧な病歴聴取、詳細な身体診察を基本としつつ、先端的な電気生理検査、画像検査、遺伝子診断を駆使して、病態を明らかにし、最も適した治療法を提案します。それぞれの疾患や検査を専門とする医師が研究レベルからベッドサイドでの治療を視野にいれて臨床に携わっています。疾患に応じて、臨床研究、臨床試験への参加の提案も行います。

脊柱靱帯骨化症や脊髄腫瘍については、脊髄モニタリングを併用した安全性の高い手術療法を実践しています。特に頸椎疾患に対する診断治療は日本のみならず世界をリードし、いかなる難しい病態に対しても応えていきます。



お願い

次の疾患について特に患者さんをご紹介ください。

《担当診療科：脳神経内科》

認知症：三條 伸夫医師、西田 陽一郎医師

多発性硬化症、視神経脊髄炎スペクトラム障害専門外来：横手 裕明医師

パーキンソン病 / パーキンソン症候群、特発性正常圧水頭症：服部 高明医師

《担当診療科：整形外科》

頸椎椎間板ヘルニア・頸椎症：吉井 俊貴医師

脊椎・脊髄腫瘍：平井 高志医師

腰部脊柱管狭窄症：江川 聡医師、小沼 博明医師

腰椎椎間板ヘルニア：松倉 遊医師

ご紹介いただく際は、「神経難病先端医療センター 脳神経内科」または「神経難病先端医療センター 整形外科」宛てにご紹介いただき、医師の指定がある場合には医師名をご記載ください。また貴施設や他施設で撮影された画像がございましたらCD-ROMにてご提供ください。併せて検査結果についてもご提供いただければ幸いです。

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。